

開洋丸ミーティング

2002年6月12日

参加：津田敦、齊藤宏明、野尻幸宏、工藤勲、西岡純、芳村毅、小埜恒夫、清沢弘志

Inter calibration: In はバクテリア、基礎生産、OUT はそれに加えて栄養塩、Chl .
後のメールで DOC も範疇に含めることを検討中 (芳村)

El Puma がいる間はプロペラを夜間に行なう必要がある。09 時にパッチセンターを決めて
El Puma に伝えるため、夜間の調査となる。

6・25日 カナダミーティング (津田出席予定) で聞くこと
トラップの仕立て (ドローグの位置など)

クロロフィルサイズフラクション用フィルターは津田へ送る予定
サイズ別用ファンネルは武田 2 + 西岡 2
カナダで渡すサンプルの日時の確認 (入港日は税関がくるので避ける)

15 年度の白鳳丸について

9 月末東京出港東京帰港 3 週間 小池主席の化学航海

乗木 大量採水 (少し南も入るが中心は亜寒帯)

応募するのは： 武田 工藤 3 人 野尻 西岡 2 人 津田・齊藤 宗林はだす？ 清沢
は武田から (?)

メソコズムを行なっては (推進費で買う？) 材質 (透明塩ビ？)

温度調整をどうやるかが問題、ダブルレイヤーで海水を廻す？温度調節を考えれば南の
調査を行なってから HNLC に入るのがいいのでは？

SOLAS ということで植松さんにコンタクト。16 年度植松航海で 21 日または 50 日程度
の航海を作る (?)

9 月に共同利用シンポジウム。これに向けて準備・

推進費

評価は 9 月。これで単純延長 2 年を目指す。

16 年に西部亜寒帯航海、17 年は synthesis

電中研の研究フェーズは 16 年まで。(これで 16 年度の航海はできる)

24 日 開洋丸 積み込み

FRRF, 採水器 3 本 (久万から) 青野さんから箱 1、分光蛍光光度計および PC 等

小埜対応、工藤も行く

論文 単発で早く出す。

食卓料 1日 2100円 約4万

位置表示ソフト 西経がでるようになった。手入力のままの予定。

開洋丸

船舶電話 090-3026-3492 ファクス 090-3022-2321

インマル 010-872-343102510 ファクス 010-872-343102540

e-mail (主席調査員) 添付ファイル禁止！！ csc@kaiyomaru.ships.affrc.go.jp

DH でのエージェント

Alaska Maritime Agencies, Dutch Harbor Office

P.O.Box 920105, Newhall Building/ Sabdard

Oil Hill

Dutch Harbor, Alaska 99692-0105

Phone: 907-581-1467

Fax: 907-581-1663

DH のホテル

The Grand Aleutian Hotel

P.O.Box 921169

Dutch Harbor, Alaska 99692-1169

Phone: 907-891-1194

Reservation: 800-891-1194

使用するバースは直前までわからず、寄航中の移動や沖がかりもありうるので、エージェントに確認すること。

ヴァンクーバー代理店

Empire Shipping Agency LTD, 611 Alexander Street, Suite 316, Vancouver, B.C. V6A

1E1, tel: 604-255-1116 fax: 604-255-1152

釧路代理店

三ツ輪運輸 釧路市西港 2-101-4 tel: 0154-54-3030 fax: 0154-55-2157

Kodiak 代理店 Alaska Maritime Agencies, Western District Control Office, 4341 B
Street, Suite 101, Anchorage, Alaska 99503
Tel: 907-562-8808 Fax: 907-562-8810